

4 内外に誇れる 安心安全な生活環境づくり

4点目の内外に誇れる、安心安全な生活環境づくりについてでございます。

防災体制 について

昨年11月に発生した竜巻は記憶に新しいところであり、また爆弾低気圧などの新たに遭遇する言葉に、自然災害に対する認識を改めて強く意識せずにはられません。

わが町における防災体制は南西沖地震以後「災害に強いまちづくり」をスローガンに津波対策はもちろんのこと、関係機関のご理解のもと随時その整備を進められており、そのため、最近では海外からも取材や視察に訪れる方々が多くなりました。

いまや奥尻町は、災害復興ならびに防災対策のモデルケー

スとして、世界中から注目を浴びるまでになっております。こうしたことを受け、平成9年度以来見直しの行われなかった「奥尻町地域防災計画」を時代状況に応じた防災計画とするため、全面改訂を視野に見直しを図ります。

交通安全 について

交通安全運動につきまして「町民総ぐるみ運動」を目標として町交通安全協会、町内会、各種機関、団体等のご協力をいただき、当面の目標でありました「交通事故死ゼロの日」2000日を達成いたしました。

あらためまして関係各位に感謝申し上げます。

これは通過点に過ぎず、ひとつの節目としながらも、さ

らなる高い目標に向かって交通事故防止啓発活動、交通安全旗掲出活動はもとより、「シートベルト・チャイルドシート着用の徹底」「子どもと高齢者の事故防止運動」「飲酒運転の根絶」「安全運動の励行」のスローガンのもと、関係機関とのさらなる連携を強化し、「悲惨な事故にあわない、あわせない」を合言葉に町民総ぐるみの交通安全に努めてまいります。

環境行政 について

私は、本町の優れた自然を守り、清楚で住み良く、環境負荷の無い美しい島を後世に引継ぐことを、環境行政の基本とするものであります。

このため、国の進める循環型社会の構築を目指し、「ごみの発生と排出の抑制・リサイクルの推進・適正処理」について、いわゆる「3R」を

町民みなさんの協力を得ながらさらに推進いたします。

一般廃棄物については、17年度排出量前年度比5・9パーセントの減、資源ごみについ

ては2・7パーセントの増となっております。ごみの分別に対する町民意識の改革が定着しつつあるものと理解しておりますが、空き缶の「ポイ捨て防止」などの課題につきましても、啓蒙活動を通しての防止、環境ボランティアの協力を得て清掃活動を積極的に行い、「清潔な街づくり」を推進することといたします。

今後は、包装リサイクル法の完全実施に向けた施設整備が必要と考えております。

使用済自動車の島外搬出事業におきましては、18年度現在112台の搬出があり、この事業による不法処理対策について一定の効果が現れているところであり、本年度におきましても116台の処理が見込まれ、さらにこの支援事業を推進することといたします。

最終処分場の工事進捗状況は42パーセントであり、今年11月からの供用開始を予定しておりますが、竣工後の施設の維持管理につきましては廃棄物処理法を遵守し、適切な運用に努めることといたします。



昨年12月21日▶
で、交通事故死ゼロの日が
2千日を達成する



2千日の達成記念と報告
で交通安全パレード実施

定住・移住対策について

次に定住・移住対策についてですが、雇用の場の確保が大きな課題となります。

昨年、北海道移住促進協議会に加入し、総合相談窓口を設け、移住希望者の相談に応じておりますが、今後は本人が持っている資格を活かせる就業先を中心とした求人情報収集と提供、民間の空家状況の把握などに積極的に努めてまいります。

なお、いわゆる団塊の世代をターゲットとした遊休町有地や農地などの活用による移住支援策の確立についても早急に対処しなければなりません、何よりも移住者が安心して暮らすことができるよう医療、福祉、教育などといった生活環境を整えることも重要であると認識しているところであります。

5 街の誇りと愛着をはぐくむ教育の充実

最後になりますが、町の誇りと愛着をはぐくむ教育の充実であります。

教育環境について

島づくりの基本は「人づくり」であることはいつの時代も不変でありましょう。

子ども達が、表現豊かにのびのび、はつらつと育つことのできる教育環境と健全な育成のために、家庭と学校、地域社会が一体となることがより一層求められております。また、「命の大切さや、他人を思いやる心をはぐくむ」道徳教育の必要性、さらには非行やいじめ、不登校などへの適時適正な対応も大きな課題となっております。

これら現状認識の上に立つて町の教育目標である「ふる

員会をはじめ関係機関と連携を深め推進してまいります。また、町民みなさんが生きがいを持つ地域社会の形成のための生涯学習を推進し、

多様な学習の機会、発表の場を支援し、また、さまざまな

体育、文化芸術活動の振興や文化の継承、さらには歴史的遺産の保存、展示においても町民の自主的な幅広い参加と積極的な実践活動が展開されますよう努めてまいります。

むすびに...

議員みなさんにとりまして今年度は統一選挙の年、とくに今期をもって勇退されます議員には、長い間本町の自治振興に多大なるご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。これから適時、適切なるご助言とお力沿いをお願い申し上げます。

また、選挙に挑まれる議員のみなさんには当選の栄に浴され、この場での再会を祈念しております。

以上平成19年度の町政運営にあたり、私の所信と施策の

一端について申し述べましたが、最大の懸案であります財政基盤の建て直しに向け、さらなる努力を傾注してまいりますので、議員各位ならびに町民みなさんのご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、施政方針といたします。



3月の町長の動向

- 1日 第30回北海道奥尻高等学校卒業証書授与式
- 2日 定例課長会議／臨時町議会（江差町）
- 3日 航空自衛隊奥尻島分屯地新レーダー等落成記念式典・祝賀会
- 6日 第1回奥尻町議会定例会
- 11日 第15回いつまでも元気大会／檜山管内要望会（厚沢部町）
- 15日 奥尻中学校卒業式
- 17日 奥尻小学校卒業式
- 20日 南檜山地域保健医療福祉推進協議会定例会（江差町）
- 22日 青苗幼稚園卒園式
- 27日 東風泊へき地保育所卒所・終了式／奥尻町地方港湾審議会
- 30日 新採用職員・退職職員辞令交付